会 議 要 旨

1 開 会

2 平成 26 年 1 月定例教育委員会会議録の承認

事前に配布されている会議録について、異議がないか確認のうえ承認。

3 委員及び教育長の報告

委員報告

無し

教育長報告

(1) 25 報告第 36 号

教育に関する事務の外部評価委員の委嘱について

(総務課長)

西之表市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 3 条第 1 項の規定により、臨時代理した教育に関する事務の外部評価委員の委嘱について、同条第 2 項の規定により報告。

教育に関する事務の外部評価委員会委員の任期が終了していたことから新たに委嘱したものである。

任期は平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までである。

(委員長)

委員の皆さんから、質問、意見はありませんか。

(委員からの質問、意見は無し)

(2) 25 報告第 37 号

平成 26 年第 1 回西之表市議会臨時会について

(総務課長)

1 月 22 日に開催されたことについて、その概要を定例会資料に基づき報告。

議案審議は平成 25 年度西之表市一般会計補正予算 (第 6 号) について、で質疑要望事項は特になく、「承認」されたことを報告。

(委員長)

委員の皆さんから、質問、意見はありませんか。

(委員からの質問、意見は無し)

4 議 事

(1) 25 議案第 14 号

西之表市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について

(社会教育課長)

平成 25 年 6 月 14 日に公布された「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(平成 25 年法律第 44 号)により、社会教育法(平成 24 年法律第 207 号)の一部改正が行われ、これまで法律で定めら

れていた社会教育委員の委嘱の基準が削除されるとともに、当該委嘱の基準は文部科学省令で定める基準を参酌して地方公共団体の条例で定めることとされたことに伴い、条例の一部を改正するものである。

改正の内容は別添、「西之表市社会教育委員条例の一部を改正する条例新旧対照表」及び、定例会資料3ページに掲載のとおりである。

(委員長)

委員の皆さんから、質問、意見はありませんか。

(委員からの質問、意見は無し)

(委員長)

委員からのご異議が無いようですので、議案第14号は原案どおりこれを承認します。

5 委員から出された動議討論等

無し

6 行事实施状況及び行事予定

(1) 各課等の1月の行事实施状況について

各課等の1月行事实施状況について、各課長より資料に基づき説明が行われた。

(委員)

旧中学校校舎・体育館はどのように使われているか。

(総務課長)

旧住吉中学校の校舎及び体育館はせいざん病院に無償譲渡している。旧榕城中学校以外の校舎は民間企業に貸出している。旧安城中学校の体育館は安納芋の貯蔵施設として民間企業に貸出している。旧国上中学校、旧現和中学校、旧古田中学校の体育館は体育施設として地域・校区に一般解放している。旧榕城中学校の体育館は種子島中学校の第2施設として活用し、また夜間は地域に一般解放している。

(委員)

1月15日にスクールバス運行管理業務の入札が行われ、落札しなかったということであるが、落札しない理由は何か。

(総務課長)

予定価格に達していないことが理由である。

(委員長)

予定価格は市の基準として、適正な価格として捉えているか。

(総務課長)

これまでの委託料を見たとき、他市の状況と比較して高いと思われる。スクー

ルバスはそれまでの路線バスを継承して運行してきたが、23年度に路線バスが廃止になった際、路線バス分の委託料がスクールバスに上乗せされている状況である。ここを改善したい。

(委員長)

適正な手続きで執行してほしい。

(委員)

学校教育課で就学指導を日数をかけて行っているようだが、例年と比較してどうか。

(学校教育課長)

各学校を訪問し状況を把握している段階であるので、結果はあともって報告する。

(委員)

種子高でラインを使ってネットいじめがあったと聞くが、詳細を把握しているか。

(学校教育課長)

学校でネットを検索して調査したと聞いている。一時的なものであったと聞いている。

(委員)

学校教育課で1月23日に教育論文審査を実施しているが、今年の傾向は如何だったか。

(学校教育課長)

全体で76点出ている。教頭はほぼ全員、校長は約半分が出している状況である。主に教育実践についてで、英語教育、学力向上についての内容になっている。

(委員)

女子駅伝は素晴らしい結果だった。内容の詳細はどのようなであったか。

(社会教育課長)

別添資料「第27回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会 成績表」のとおりで、Cクラス優勝、躍進賞を受賞している。特に3区の「前田海音」走者は区間賞に9秒及ばないものの、力走を見せてくれた。

(委員)

社会教育課で1月15日に開催された臨時文化財保護審議会で、月窓亭の一部改修を決めたということであるが、内容はどのようなものか。

(社会教育課長)

2月に予定されているロケット打ち上げに伴い、NASAの関係者が月窓亭の見学に来ることになっている。身体が大きいので、1回の鴨居が下がって危険な状況である。原状は変えたくないが、鴨居を2本補強することになっている。

(委員)

社会教育課で1月15日に開催された臨時文化財保護審議会で、ヘゴの自生群のことが出たが、内容はどのようなものか。

(社会教育課長)

ヘゴの自生群は市の文化財に指定されているもので、種子島北部観光の一環として整備されている。今回、自生群近くに小川の水を引き、農業用貯水タンクを建設するという計画が出てきたので、文化財としての景観等に支障がないかを審議した。

(2) 2月・3月の行事予定について

各課等の2月、3月の行事予定について、各課長より資料に基づき説明が行われた。

(委員)

社会教育課で3月7日に開催されるスポーツ推進委員会はどのような内容か。

(社会教育課長)

今年度の反省と26年度計画の策定である。

(委員)

スポーツ合宿の協議会はどうなっているか。

(社会教育課長)

まだ、立ち上げていない。

(委員長)

教育委員として出会すべき行事の確認をしたい。

<各課ごとの行事について確認>

7 当面する教育行政の諸課題について

(1) いじめ問題等について

(学校教育課長)

平成26年1月末における「西之表市児童生徒の不登校の状況について」説明。不登校の状況が20人、いじめの発見及び対応状況については該当なし。問題行動についても該当なし。

(2) 特認校制度の状況について

(学校教育課長)

上西小学校への山村留学が2人決定している。特認校については、現在12人決定しているが、2人増えそうな状況で、今後詳細が決まり次第、報告したい。

(3) 教育に関する事務の点検及び評価について

(総務課長)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に規定する教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行う事務事業について、外部評価委員との合同評価をお願いしたい。次の「その他」が終わってから評価をお願いしたい。

8 その他

(1) 第27回県地区対抗女子駅伝大会の結果について

(学校教育課長)

1月の行事実施状況の報告で述べたとおりである。

(2) 平成26年度西之表市明るい選挙推進協議会委員の選出について

(総務課長)

選挙管理委員会委員長から推薦を求められている。これまで互選により決定しているので選出をお願いしたい。

<互選により図師委員に決定>

7 当面する教育行政の諸課題について

(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事務事業の評価について

(委員長)

外部評価委員との合同評価に入る前に、前回の評価に加えることはないか等教育委員会としての評価を再度行いたい。まず、「奨学金貸与事務」について意見を出していただきたい。

(委員)

貸与するときに返済能力をしっかりと検討しているか。

(総務課長)

事務局としては貸与するときに一定の制限を設けたかったが、市議会の反対があったものである。

(委員)

「借りたら返す」ということを意識してもらう。「借りたら返す」ということは社会の基本的なルールであることを教えていくことも大事である。

経済力のない人に貸している。その人が就職しない。返せない。板挟みになっている。経済的に余裕のある人に保証人になってもらうようにしてはどうか。

(委員長)

「ふるさと少年の主張発表会開催事業」については如何か。

(委員)

更に推進していくためにこれまで出された意見・要望を実行してほしい。

(委員長)

「地域に根差した人材活用事業」については如何か。

(委員)

(特に意見は無し)

(委員長)

「市民フェア開催事業」については如何か。

(委員)

現在は福祉・健康・教育が一体となった市民総ぐるみのフェアになっている。以前は社会教育課のみであった。その経緯を説明してほしい。

(社会教育課長)

生涯教育一本でやっていたものが、予算面、人集めの関係で一本化してきた経緯がある。

(社会教育課長)

講演については、予算の部分で他の部署、他の行事と共同で講師依頼をしてはどうか、というご指摘があったが、今年度は「保健センターすこやか」と連携して講師依頼を行った。

(委員長)

「郷土芸能・保護伝承事業」については如何か。

(委員)

少子化・高齢化で伝承が難しくなっている。幼児期からの関わりが必要である。

(委員)

古田小では高齢者が昼休みに来て、棒踊りを指導し、大祭で発表していた。

(委員)

第三者が体験することによって広がりを見せる部分もある。

(委員長)

「勤労青少年ホーム管理事業」「勤労青少年ホーム運営事業」については如何か。

(社会教育課長)

改修については26年度の予算編成に向けて要望したが、市長査定の段階で落とされた。26年度は十分に内容を検討し、それを踏まえて、27年度以降に耐震診断、補修を行っていくことにしている。

(委員)

どのような施設を想定しているか。

(社会教育課長)

勤労青少年が使う施設ではない状況である。合宿施設としての検討もしている。

【外部評価委員会との合同評価】

教育委員会委員及び、外部評価委員会委員で7事業の評価を実施した。その概要については、以下のとおりである。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
義務教育の充実	学習環境の整備・充実	奨学金貸与事務	教委総務課	庶務係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 奨学金は実際は親に貸しているのではないか。借りた自覚・意識のない子供が返す意識を持てるかは疑問である。したがって返済は親がするというのでは如何か。⇒ 以前は保護者の口座に振り込むこともあったようであるが、ご指摘のようなことがあったため、22年度以降は子供の口座に振り込んでいる。
- 就職できない人への免除の手立てはあるのか。
- 最終的な取り立ての方法はどうしているか。
- 保証人と話をしてどれほどの効果があるものか。
- 滞納者については、新たに保証人は立てるべきか。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
義務教育の充実	学力の定着と向上	ふるさと少年の主張発表会 開催事業	学校教育課	指導係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 中学生は何人発表するか。⇒ 7人である。
- 以前は各中学校の代表であったが、中学校がひとつになって代表者が偏っていないか。発表者の選考には工夫を加えてはどうか。

- 旧中学校の区割りからの発表者を出すとか、男女とか。
- 一人でも多くの人に発表してもらいたい。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
義務教育の充実	学力の定着と向上	地域に根ざした人材活用事業	学校教育課	指導係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 大字の学校の方が活用しているのではないか。 ⇒ 謝金の予算があるが、あまり使っていない。学校が独自で取り組んでいる。もっとPRが必要かもしれないと考えている。学校応援団という組織もある。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
生涯学習社会の実現	生涯学習機会の充実	市民フェア開催事業	社会教育課	社会教育係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 生涯学習発表、すこやかフェスタと両方やっているが、幅が広いのではないか。
- 生涯教育一本でやっていたものが、予算面、人集めの関係で一本化してきた経緯がある。何もかも一緒にすると焦点がぼける。はっきりした狙いを定めて年次の工夫を加えることが大事である。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
社会教育の推進	文化財保護の充実	郷土芸能・保護伝承事業	社会教育課	文化係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 市の財政、高齢化を考慮すると難しい面もあるが、大事な事業なので推進してほしい。
- 一番危機感を感じているのはどこの地域か。 ⇒ 保存会の予算をみると寺之門地区の花踊りが財政的には一番厳しい。
- 寺之門地区の花踊りは後継者不足ではないか。
- 「子供たちに伝承していくこと」に補助してはどうか。
- 出郷者・出身者にも声掛けして保存活動をしてはどうか。
- 学校教員が郷土芸能に参加している例があるか。 ⇒ 現和・古田小学校が参加している。
- 誇りと思う気持ちを育てる、地域にそういう人材があるか。
- 陳情書採択を受けて市の予算に反映させたか。 ⇒ 調査をしたら、留保財源があっ

た為、していない。

- 途絶えたら復活するのは難しい。
- 絶やさないように尽力してほしい。

施策名	基本事業名称	事務事業名称	課	係
社会教育の推進	青少年の健全育成	勤労青少年ホーム管理事業	社会教育課	社会教育係
社会教育の推進	青少年の健全育成	勤労青少年ホーム運営事業	社会教育課	社会教育係

※ 教育委員・外部評価委員の質問・意見・要望 ⇒ 事務局回答

- 利用者はどの程度か。 ⇒ 24年度が6,480人。23年度が5,200人である。
- 利用は主に夜間か。 ⇒ 昼間である。
- 勤労青少年ホームがなくなったら替わる施設があるのか。 ⇒ 市民会館を考えている。
- 無料だから利用者が上がっているのではないか。有料にすべきではないか。
- 子供達が使っていない。場所的に好条件なので、利用を検討すべきではないか。
- 窓枠には新聞紙を詰めている状況で、安心・安全な施設といえるか。
- 方針を決めてから耐震診断をすべきである。
- 周辺の施設と絡めた総合的な施設の在り様を検討すべきである。

9 閉 会